

黄色いコーンが取り 払われて次のス テージへ

まるで猛獣のように積み木をどんどん積んでいって
なんとか崖の上へよじ登ろうとするのを、

一人の鬼がギロギロに目を光らせて、

元いた場所に引きずり降ろされる。

泥のような暗黒の夜もあるが、

晴れた雲の少ない朝では気分も変わり、

これが単なるスマホのスピードのズレだけのように
思えてきた。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。